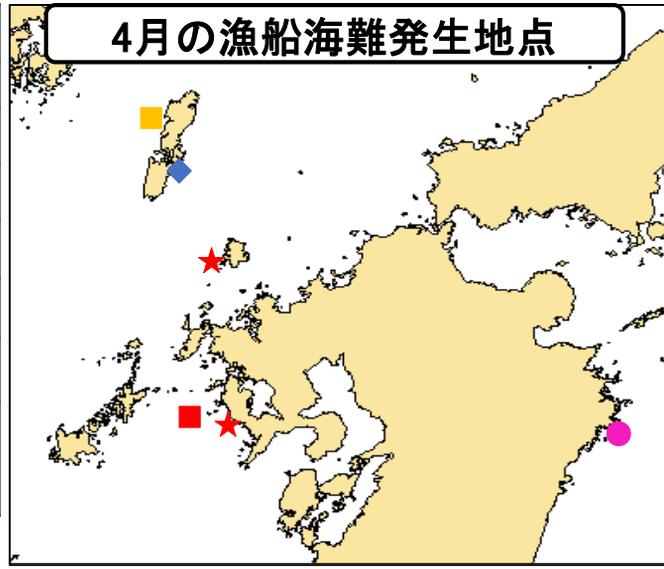


令和4年4月発生
七管内漁船海難 計6隻

令和4年4月累計 24隻 (前年33隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ **9隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	2
火災	●	1
運航不能 (有人漂流)	◆	1
運航不能 (機関故障)	■	1
運航不能 (推進器障害)	□	1
合計 6隻 (昨年 9隻) 死亡、行方不明者: 1名		

	県別内訳	
	4月	令和4年累計
山口県	0	4(3)
福岡県	0	4(5)
佐賀県	0	3(1)
長崎県	5	11(18)
大分県	1	2(6)
合計	6隻	24隻 (33隻) ()は昨年同月



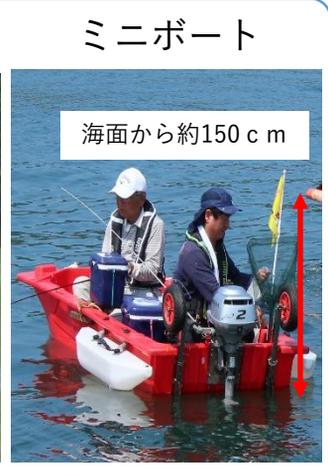
累計死亡・行方不明者数: 4名 (令和4年4月末日現在)

過去、SUP衝突死亡事故も・・・漁業者のみなさまへのお願い ＜夏季マリンレジャーシーズンは既に始まっている！＞

段々と日差しが強まり、マリンレジャーが本格化する時期となりました。既に今年の5月に入って、ミニボート、水上オートバイの夏季に頻発するマリンレジャー海難が各1件ずつ発生しています。近年のアウトドアブームで、SUPやカヌー、ミニボート等、手軽にマリンレジャーを楽しまれる方が多くなっています。

SUP、カヌー、ミニボートは、いずれも海面からの高さが低く、「海の上では非常に見えづらいもの」となっています。また、その手軽さから、どこからでも出航することができるため、漁港や漁場の海域に突然現れることも考えられます。しっかりと見張りを行っていないと衝突事故に繋がるおそれがあります。昨年福井県において、漁船とSUPが衝突し、SUPに乗っていた方が死亡するという痛ましい事故も発生しています。

事故防止のため、「航行中・操業中を問わず、常時適切な見張り」にご協力をお願いします。



マリンレジャーの初心者は、海の知識が十分でないことが多いです。進路上への飛び出しなど、予想外の行動に十分注意して、見張りを行い、早め早めの避航動作を行いましょう!! 海のプロである皆様の協力が必要です。